

# とこぶん通信

2020年8月号



## 【所沢分館 8月の休館日】

月曜休館日 3日・17日・24日・31日 (10日は開館)  
 振替休館日 11日(火)  
 図書整理日 26日

## (表紙の写真) 野老澤行灯廊火の展示

7月の風物詩でもありました野老澤行灯廊火が、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止となりました。地域の方に行灯飾りを楽しんでいただくため、7月31日まで展示いたしました。

## ★旧町の歴史書散策★⑫

### 『所沢市史上・下』

所沢市史編さん委員会/編 222/ト

(上巻) 原始時代～江戸時代 (下巻) 明治維新～現代

所沢町は鎌倉街道の河原宿、本宿から江戸に通ずる江戸道に沿った窪地に発達した宿場町である。上町、仲町、下町を中心に明治初年には南方の高台(上の台)に生活の場が広まり、用水の必要が強まっていた。(下巻 119Pより抜粋)

## 所沢分館長です

記録的豪雨、長い梅雨による日照不足と今年の夏は気象災害に悩まされています。夏から秋にかけては分館前のコミュニティー広場で多くのイベントが企画されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大により、軒並み中止となってしまいました。

ひと際寂しい夏になりましたが、所沢分館では行事の一部を再開し、8月には子ども向け夏休み企画を実施いたします。どうぞ、ご参加ください。

## ★今月の一冊★

### NHK2020 大河ドラマ 「麒麟がくる」 関連本④

明智光秀の生涯でクライマックスとなる「本能寺の変」を織田信長側から扱った著作を見てみましょう。

#### 『織田信長』 池上裕子/著 289.1/オ

光秀がなぜ信長を討ったのか、その動機をめぐっては大きく分けて怨恨説と野望説がある。しかし、光秀一人の動機を云々するだけでは、衝撃的で歴史の歯車を変えたともいえる本能寺の変の真相を捉えきれないとの思いも多くの人にある。そこからまた、光秀を影であやつた黒幕（朝廷、義昭、イエズス会等）を想定する、実にさまざまな黒幕説がある。そこからまた、高い教養と保守性に彩られた人物像がつけられ、はたまた革新の信長対保守光秀という図式がつけられるなど、本能寺の変をめぐる議論がつきない。

#### 『織田信長』 藤田達生/著 289.1/オ

著者は「本能寺の変の実像」で、天正十年六月十二日付土橋重治宛明智光秀書状を紹介している。

この書状によると、将軍足利義昭が入洛することになっており、光秀は既に承知していることになっている。著者は次のように結論づけている。

「六月九日付光秀自筆覚書」において、光秀は今回のクーデターの目的は、光秀の娘婿であると念を押し、・・・管領家に連なる細川家や幕府衆である明智家を中心とした国家を構想しているのだから、やはり義昭の帰洛による幕府再興のためのクーデターだったと理解するべきである。



\* 所沢図書館所蔵の本は予約・取り寄せすることができます。

## ◎所沢分館行事の一部再開◎

7月より

- こども映画会 毎月第2・3日曜日 11:00～
- 市民映画会 毎月第2・3日曜日 14:00～
- おはなし会 毎月第1・3土曜日 10:30～

各行事は、事前申込制で定員を設けております。ご入場には、マスク着用をお願いしております。

### 「とこぶん通信」の発行について

とこぶん通信は毎月1日発行で、所沢分館のイベント案内、図書館資料の紹介などを見開き4ページにして、発行してまいりました。新型コロナウイルス感染症対策のため、4月以降は臨時休館、臨時窓口の対応となり、イベント・行事も中止させていただきました。この間、4月～6月はとこぶん通信も休刊にいたしました。7月より一部行事も再開となり、とこぶん通信7月号より発行を再開いたしました。

しかし、図書館イベント・行事の全面再開が見通せないなか、とこぶん通信の情報提供にも制約があり、毎月発行の継続が難しい状況です。そこで、8月号より隔月刊行とさせていただきます。今年度は、次号が10月号となり、12、2月に発行いたします。どうぞ、よろしく願いいたします。